

自分の体を知って、糖尿病の治療に役立てよう！

InBody770(体成分分析)

どこに多く脂肪がついているか、どこの筋肉が落ちているかが、わかります。
生活習慣を変えることにより、自分の体が変わっていくのも、わかります。

InBody

※ちなみに当院副院長のデータです。この結果をみて、目下減量中です。

[InBody770]

ID	身長	年齢	性別	測定日時
102	171cm	52	男性	2019.12.02. 14:14

体成分分析

体水分量 (L)

タンパク質量 (kg)

ミネラル量 (kg)

体脂肪量 (kg)

筋肉が少ない、脂肪（特におなかのまわりの内臓脂肪）が多い人では、すい臓から分泌されるインスリンの効きが悪くなり、血糖悪化につながります。

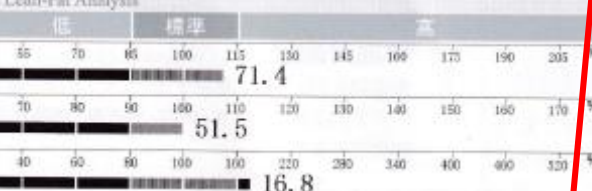
筋肉-脂肪

Soft Lean-Fat Analysis

体重 (kg)

筋肉量 (kg)

体脂肪量 (kg)

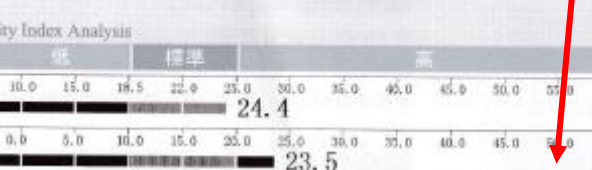


肥満指標

Obesity Index Analysis

BMI (kg/m²)

体脂肪率 (%)



部位別筋肉量

Segmental Lean Analysis

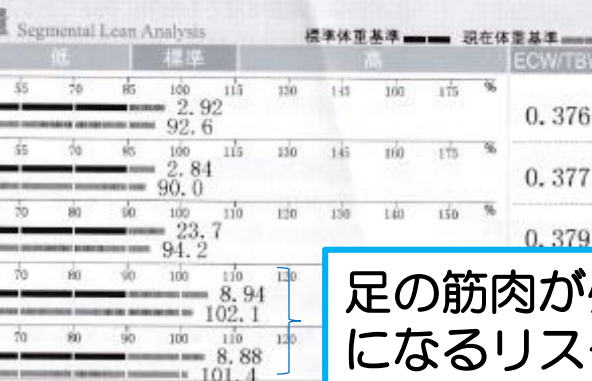
右腕 (kg)

左腕 (kg)

体幹 (kg)

右脚 (kg)

左脚 (kg)

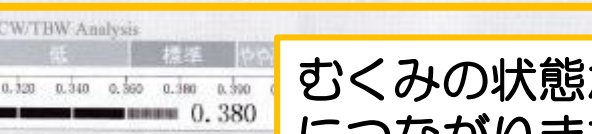


足の筋肉が少ない人は、将来寝たきりになるリスクが上がってしまいます。

体水分均衡

ECW/TBW Analysis

細胞外水分比



むくみの状態がわかり、病気の早期発見につながります。

当院では、InBodyで患者さんの体の状態と、その変化を見ることで、糖尿病治療に役立てています。

神戸おかだクリニック 院長 岡田 裕子

078-241-1350

<https://okada-dmcl.jp>